



蘇水峡川まつり  
(提供:八百津町観光協会)

## 岐阜県加茂郡 八百津町



(提供:八百津町観光協会)

八百津町全景(手前に人道の丘公園・杉原千畝記念館)

### 八百津町の紹介

八百津町は、岐阜県の東南部に位置し、人口は約1万1千人、総面積128.79km<sup>2</sup>、地勢は北側に飛騨川、南には木曾川が流れています。本町は、古くは木曾木材などの舟運の川湊として栄え、江戸時代は尾張徳川藩に属し、藩の木材奉行所が設けられるなど、湊を中心に栄えてきましたが、木曾川の改修や水力発電ダムの建設などにより舟運の歴史は1939年に終焉を迎えました。

八百津町には、第2次世界大戦中ナチスドイツによる大量虐殺から多くのユダヤ避難民らを救った、本町出身の外交官「杉原千畝」を顕彰した施設の人道の丘公園と杉原千畝記念館があります。この施設を通して世界中に平和、命の大切さ、人権などを広く発信しています。また、町内には、五宝滝、めい想の森公園、蘇水峡など自然豊かな八百津町ならではの景勝地などがあります。



(提供:八百津町観光協会)

杉原千畝像と杉原千畝記念館



(提供:八百津町観光協会)

蘇水峡

### 八百津町の水道

八百津町の水道事業は、1954年の創設以来、人口の変移や給水区域の拡大に伴い、6度にわたる拡張・変更を重ねながら、町民の皆様へ安心安全な水道水を供給してきました。2017年には簡易水道事業と八百津町水道事業を統合し一体経営体制としました。さらに、2019年には水道事業の一層の安定的継続を目指し、水道ビジョン及び経営戦略を策定しました。

2015年に供用開始をした木曾川右岸施設の上飯田調整池(水資源機構管理)から取水する上飯田浄水場をはじめ、木野浄水場、久田見浄水場、潮南浄水場の町内4か所の浄水場を起点とし、17か所の配水池、7か所のポンプ場を稼働させ、日々安定供給に努めています。その積み重ねにより、八百津町における水道の普及率はほぼ100%



上飯田調整池と上飯田浄水場

に達し、拡張から維持管理の時代へと移行しています。ただし、近年は、人口減少などに伴う給水収益の低迷、水道施設の耐震化や老朽化対策への投資の増大など水道事業を取り巻く環境が大きく変化しており、高度化、多様化する課題への取り組みが求められています。

### 舟運で栄えた町のお祭り

八百津町には大きなお祭りとして「八百津だんじり祭り」「久田見糸きりからくり祭り」「蘇水峡川まつり」の3つがあります。



(提供:八百津町観光協会)

だんじり祭り

その中でも舟運で栄えた町ならではの祭りとして、春に開催される「八百津だんじり祭り」と、夏に開催される「蘇水峡川まつり」があります。「八百津だんじり祭り」は、元禄年間に始まったお祭りで、そのだんじりは重量がおよそ4トンにも及ぶ船を模った3輦の巨大なもので、大きなかけ声とともに町中を曳きまわされ、威勢がいいことから別名「けんか祭り」とも呼ばれています。「蘇水峡川まつり」は、八百津町の盛夏の風物詩で、木曾川の歴史をはぐくみながら開催されてきた歴史あるお祭りです。提灯で飾り付けられた「まきわら舟」、ほのかな灯りの「万灯流し」が川面を幻想的に照らし、夜空では花火が大輪を咲かせ、谷間には迫力ある音が響きわたります。いずれのお祭りも、木曾川の舟運で栄えたこの辺りの特徴を色濃く残す伝統的なお祭りです。



(提供:八百津町観光協会)

蘇水峡川まつり